

# 複雑性トラウマを経験した子どもたちへの支援 精神力動的アプローチとメンタライゼーションを基盤としたアプローチ

Children who have experienced complex trauma: psychodynamic and mentalization-based approaches



虐待や親との離別などの早期逆境体験により、複雑性トラウマを抱える子どもたち。その支援に役立つ精神力動的アプローチとメンタライゼーションを基盤としたアプローチを学ぶ、講演会を開催します。本講演は、翻訳書籍『子ども・養育者・支援者をつなぐ 複雑性トラウマへのメンタライジング・アプローチ』の発売を記念して行われます。本書著者のフリーゲン博士からは、複雑性トラウマと発達への影響についてご講義いただき、ミッジリー博士からは、里親のための、トラウマインフォームドで、メンタライゼーションを基盤としたグループ支援プログラム（リフレクティブ・フォスタリング・プログラム）の概要をご紹介します。

2026 **3.23** 月 16:00~19:00

〈対象〉 福祉・心理・保育・医療などの領域の専門家、  
本領域に関心のある方（学生や里親を含む）

〈定員〉 対面 100名（先着順）・オンライン 500名  
（対面・オンラインいずれも事前申込制）

〈会場〉 WASEDA NEO（早稲田大学日本橋キャンパス）ホール  
COREDO 日本橋 5階 早稲田大学日本橋キャンパス  
中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 5階（COREDO 日本橋）

通訳あり  
参加費無料

ハイフレックス  
形式  
対面×オンライン

## 〈スケジュール〉

- 16:00 ご挨拶・講師紹介
- 16:10 講演「複雑性トラウマと発達への影響について理解すること」  
Understanding complex trauma and its impact on development



**ニコール・フリーゲン (Nicole Vliegen) 博士**

ベルギーのルーヴェン・カトリック大学 (KU Leuven) 臨床心理学教授。精神力動的児童心理療法と乳幼児メンタルヘルスの大学院研修プログラムを担当。精神力動的児童心理療法士の資格をもち、ルーヴェン・カトリック大学の臨床センターである Praxis P で精神力動的児童心理療法士のチームを率いる。

- 17:20 休憩 (10分)
- 17:30 講演「リフレクティブ・フォスタリング・プログラム：里親のための、トラウマインフォームドで、メンタライゼーションを基盤としたグループ支援プログラム」  
The Reflective Fostering Programme: A trauma-informed, mentalization-based group to support foster carers



**ニック・ミッジリー (Nick Midgley) 博士**

児童・青年期心理療法士であり、イギリスのユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) およびアンナ・フロイトセンター (the Anna Freud Centre) で児童期・青年期精神療法教授を務める。

- 18:40 質疑応答
- 19:00 終了

ニック・ミッジリー博士は、  
対面会場にお越しください。  
ぜひ会場でのご参加をご検討ください。

〈お申込み〉 **参加申込締切：2026年3月16日（月）午前10:00まで**

以下の Google フォームまたは右の二次元コードより、事前のお申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/9gWy9Gcq95C1PDag7>

Google フォームでの送信が難しい場合、[waseda.ricsc@gmail.com](mailto:waseda.ricsc@gmail.com) まで、  
【氏名・ご所属・ご職業・email アドレス】を明記の上、メールでお申し込みください。



〈お問合せ〉

早稲田大学社会的養育研究所（担当：那須） Email: [waseda.ricsc@gmail.com](mailto:waseda.ricsc@gmail.com)



WASEDA University  
早稲田大学



Supported by  
日本  
財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION